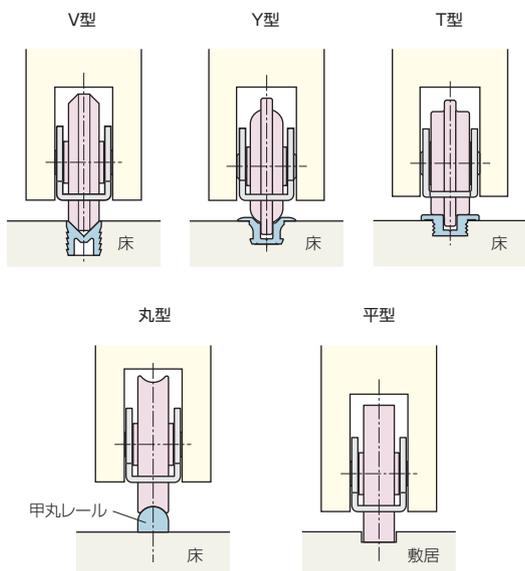


# 引戸金具に関するQ&A

**Q1** 戸車の車輪形状が複数ありますが、それぞれの特徴と、脱輪しにくい車輪形状を教えてください。

**A1** 戸車の車輪形状は、V型・Y型・T型・丸型・平型などがありますが、Y型車輪とY型レールの組み合わせが、脱輪しにくい組み合わせです。Y型車輪は、車輪が外れにくいようにレールに脱輪防止溝を設けてあり、戸車もそれに対応した形状になっているためです。



T型車輪もレール内に脱輪防止溝を設けてあり、Y型同様に車輪が外れにくいように設計されていますが、T型レールは掘込み溝を浅く設定できる事を主に設計されており、Y型レールよりも脱輪防止溝が浅くなっています。そのため、より脱輪防止溝が深いY型レールとY型車輪の組み合わせの方が、脱輪しにくいと考えられます。

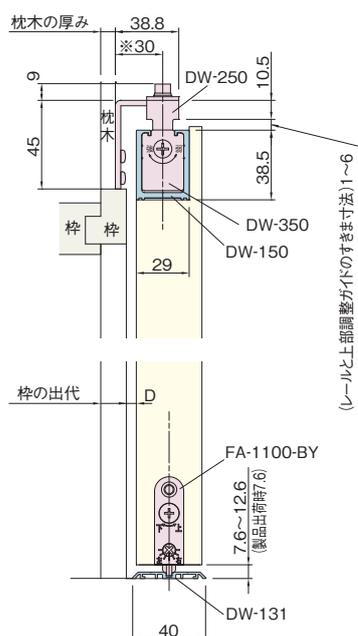
V型車輪と丸型車輪はレールに車輪が乗っているだけの状態であり、Y型車輪やT型車輪に比べると、横から衝撃を受けた時にレールから車輪が外れてしまいやすくなっています。また、丸型車輪に使用する丸型レールは凸形状で、床に出っ張りを作ってしまう、つまづきなどの危険性が高くなってしまいます。

平型は敷居の溝の上を走るタイプで、レールが不要です。レールが不要なため、走行面の加工精度や状態が走行性に影響します。

扉のサイズや使用場所などから、適切な車輪形状を選択する事で、より安全に引戸をご使用いただけます。

**Q2** DW-250の設計についてですが、枠との隙間(D寸法)を大きくする事ができますか？  
また、下部レール(DW-131)と下戸車(FA-1100-BY)を、146ページの使用金具例に掲載されている品番以外の商品を使用する事は可能ですか？

- A2**
- 枠との隙間(D寸法)を大きくする事はできます。DW-250の前後調整により2.5mm外側に調整する事ができます。それ以上、枠との隙間を大きくしたい場合は、納まり図の枕木の厚さを大きくしていくと、D寸法を広くする事ができます。また、枠との隙間(D寸法)を狭くする場合は、下部レール(DW-131)が枠に接触するので注意が必要です。
  - 下部レールをDW-131以外で使用する事は可能ですが、注意が必要です。DW-131は専用ストッパーであるDW-340を使用する事ができますが、他のレールを使用する場合は、DW-340に相当する専用部品がありませんので、代用できる戸当たりなどを用意する必要があります。また、下部レールの長さを、使用する戸当たりの種類、設置位置から計算する必要があります。
  - FA-1100-BY以外の戸車を使用する事は可能ですが、下面付け戸車などは引戸の前後調整ができなくなります。また、V型車輪を使用する場合は、脱輪の危険性が高まります。(DW-250の「設計・施工ガイド」は651～652ページ)



ドア錠 1

丁番 2

スライド丁番 3

開き戸金具 4

引戸錠 5

引戸金具 6

上吊式引戸金具 7

移動間仕切り金具 8

折戸金具 9

室内用アルミ選具 10

取手・引手 11

スライドレールワイヤーバスケット 12

収納・吊金具 13

その他の家具金物 14

物干金具・諸金具 15

真鍮アンティーク 16

設計施工ガイド

会社案内